

# 2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	社会学専攻 博士前期課程	方式	科目
		A 一般	英語

受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

(2 - 1)

辞書使用不可

《解答別紙》

問題I 次の文を読み、以下の問に答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

(Candea, M., 2018, *Schools and Styles of Anthropological Theory*, Routledge, p.60. ※一部改変あり)

問1 下線部(1)を和訳しなさい。

問2 下線部(2)の具体的な内容を、4語で書き出しなさい。

問3 下線部(3)について、著者は現在の人類学者と構造主義の関係をどのように捉えているか、日本語で説明しなさい。

# 2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	社会学専攻 博士前期課程	方式	科目
		A 一般	英語

受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

(2 - 2)

辞書使用不可

《解答別紙》

問題 II 次の文を読み、以下の問に答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

(Sanri, C., & Goodwin, R., 2014, "The Influence of Globalization and Technological Development on Intimate Relationships," Agnew, C. R. ed., *Social Influences on Romantic Relationships*, Cambridge University Press, pp.15-16. ※一部改変あり)

問1 下線部(1)によって、何が変化し、どのような帰結をもたらされたのか。本文の内容に即して日本語で記述しなさい。

問2 下線部(2)に関して、コミュニティや家族が異文化間の関係形成にどのような影響を与えると述べられているか、日本語で答えなさい。

問3 異文化間結婚（国際結婚）をしやすい人の個人特性として、本文で挙げられているものを日本語で答えなさい。

# 2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	社会学専攻 博士前期課程	方式	科目
		B 社 会 人	英 語

受験番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

(2 - 1)

英和辞書使用可 ・ 電子辞書不可 <<解答別紙>>

問題I 次の文を読み、以下の問に答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

\*ordinance 条例

(Khor, D., Tang, D. T. S., & Kamano, S., 2020, "Global Norms, State Regulations, and Local Activism: Marriage Equality and Same-Sex Partnership, Sexual Orientation, and Gender Identity Rights in Japan and Hong Kong," Bosia, M. J., McEvoy, S. M., and Rahman, M. eds., *The Oxford Handbook of Global LGBT and Sexual Diversity Politics*, Oxford University Press, pp.290-291. ※一部改変あり)

問1 下線部(1)は、どのような考えに基づいて制定されたのか。本文に即して日本語で答えなさい。

問2 下線部(2)を日本語に訳しなさい。

問3 下線部(3)を重視することで起こりうる問題は何か。本文に即して日本語で答えなさい。

# 2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	社会学専攻 博士前期課程	方式	科目
		B 社会人	英語

受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

(2 - 2)

英和辞書使用可 ・ 電子辞書不可 <<解答別紙>>

問題II 次の文を読み、以下の問に答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

\* diminutive 小さな

\* Pew 米国の世論調査・社会科学調査機関、ピュー（リサーチセンター）

\* untethered 拘束されていない

(Rainie, L., and Wellman, B., 2012, *Networked*, The MIT Press, p.95. ※一部改変あり)

問1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

問2 下線部(2)の主張を具体的に説明している部分を日本語で要約しなさい。

問3 この文章のタイトルとしてもっとも適切なものを以下の中から1つだけ選んで記号で答えなさい。

- (A) Manuel Castells' Research on the Mobile Revolution
- (B) Continuous Access and Hyperconnectivity
- (C) How Smartphones, Laptops, and Desktops Have Damaged Our Social Networks
- (D) The Internet Survey Methods and the Internet Revolutions

# 2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	社会学専攻 博士前期課程	方式	科目
		A 一般	専門

受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

( 3 - 1 )

《解答別紙》

問題 I 以下のそれぞれの問いに答えなさい。

問 1 下記の書籍の著者名を下の選択肢から選び、記号で答えなさい。(書名の後の数字は原著刊行年を示す。)

- a. 『社会学的想像力』(1959)    b. 『もう一つの声で』(1982)    c. 『貨幣の哲学』(1890)  
d. 『グローバル・シティ』(1991)    e. 『ディスタンクシオン』(1979)

**【選択肢】**

- (あ)P・ブルデュー    (い)M・ウェーバー    (う)C・ギリガン    (え)N・ルーマン    (お)S・サッセン  
(か)C・ミルズ    (き)戸田貞三    (く)A・シュッツ    (け)R・ウィリアムズ    (こ)G・ジンメル

問 2 下記の語群から3つを選び、それぞれの意味を説明しなさい。解答欄の冒頭に選んだ語の番号を記すこと。

- ① 社会関係資本    ② 世俗化    ③ 純粋な関係性    ④ ポスト・フォーディズム    ⑤ インナーシティ問題

# 2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	社会学専攻 博士前期課程	方式	科目
		A 一般	専門

受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

( 3 - 2 )

《解答別紙》

問題Ⅱ 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

公共交通の人間関係は、多くの場合、偶然乗り合わせたにすぎず、その場限りの関係でしかないし、さまざまな目的をもった多様な属性の人びとが含まれている。①見知らぬ多様な人びとが限られた時間、狭い空間に「共に在る」というだけの匿名的な関係——逆にいえば、初めて会うような互いに素性の知れぬ他者とその場限りではあっても、つかのまの関係を作らざるをえない。大量の他者と出会い、短い時間ながら、狭い空間で共存する経験——これが、多様な集団・組織とそれらを横断的に含んだ大量の人びとで構成されている「社会」という広がりを感じさせるのではないだろうか。

そうした「他者の共在」を作り出しているのは、②鉄道という近代的なテクノロジーのスピードである。民俗学者の柳田國男がかつて「縮地の術」(『秋風帖』初版は1932年、『柳田國男全集2』ちくま文庫、1989年収録)と述べ、地理学者のD・ハーヴェイが「時間と空間の圧縮」(『ポストモダニティの条件』吉原直樹監訳・和泉浩・大塚彩美訳、ちくま学芸文庫、2022年、原著は1989年)と理論化したように、鉄道はそれがなければ容易にたどりつけない広い範囲を結び付ける。その結果、さまざまな地域の人びとが狭い車内に同乗することになる。また、鉄道のスピードとルートは、それまで「行けなかった範囲」を——実際に行かないにせよ——「行ける範囲」として認識させる。そうすれば、目の前にいない他者や行ったことがない地域との想像上のつながりを得ることもできるだろう。

(中略)

こうして大規模な日常的な移動現象——ラッシュアワーの通勤は、「ホワイトカラー」や「オフィスワーカー」とよばれる新しい中間層が都市部で増大するなかで誕生し、拡大していった。逆にいえば、③旧中間層・都市下層が周縁化されやすく、資本家・都市上層等が回避できなくもないのが、ラッシュアワーの通勤といえるだろう。公共交通による通勤ラッシュは、都市のミドルクラスの人びとに特徴的な生活様式として広がっていくことになる。ある意味では、公共交通がミドルクラスらしいふるまいを作りあげていった側面もある。

(出典：田中大介『電車で怒られた！：「社会の縮図」としての鉄道マナー史』光文社新書 2024年 pp.28-32 ※一部改変あり)

問1 下線部①に関連して、現代日本における電車という公共空間における他者との関係性が具体的にどのようなものかを述べ、それを社会学的に論じなさい。

問2 下線部②に関連して、19世紀以降に、鉄道という近代的なテクノロジーのスピードがどのような「社会」をつくり出したか、説明しなさい。その際、以下の用語を必ず用い、使用した箇所を下線を引くこと。

メディア ナショナリズム 脱埋め込み

問3 下線部③に関連して、どうしてそういえるのか説明したうえで、現代日本でこのような状況に変化が見られると思うか、根拠をあげてあなたの意見を述べなさい。

# 2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	社会学専攻 博士前期課程	方式	科目
		A 一般	専 門

受験番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

( 3 - 3 )

《解答別紙》

問題Ⅲ 下の図は、日本、アメリカ合衆国、中国の人口ピラミッドである。  
これを見て、以下の問いに答えなさい。

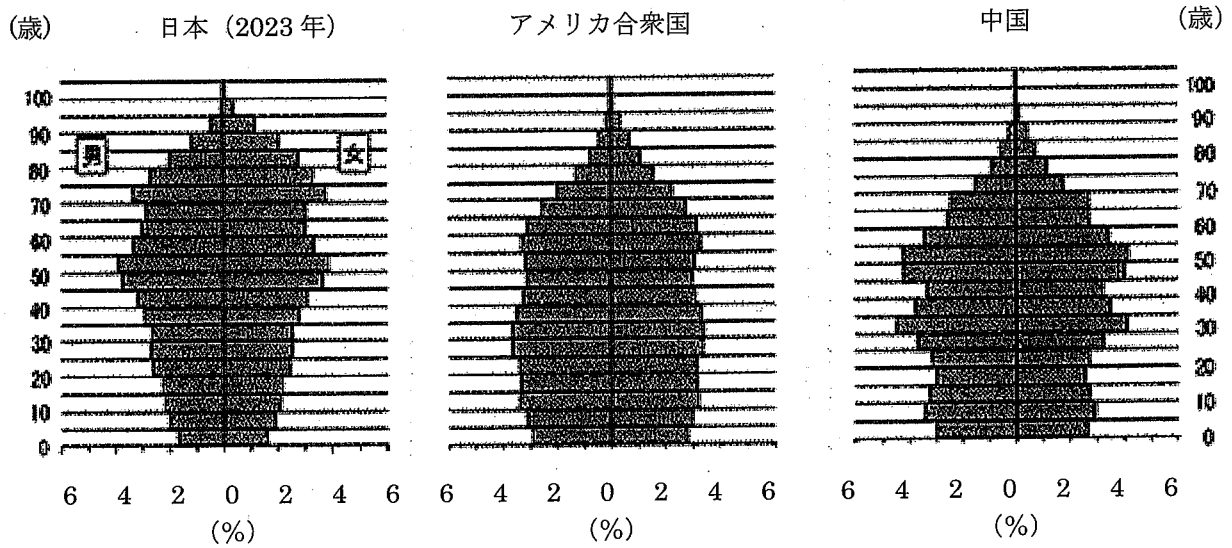


図 1. 日本、アメリカ合衆国、中国の人口ピラミッド (日本以外は 2020 年)  
総務省統計局「世界の統計 2025」より引用  
<https://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.html#h2-01>

- 問 1 この 3 カ国のうち、高齢化率をもっとも高い国を答えなさい。
- 問 2 日本では 70 代と 50 歳前後、中国では 50 歳前後と 30 代に、その前後より人口の多い世代が見られる。  
その理由をそれぞれ 100 字程度で説明しなさい。
- 問 3 近現代における経済成長による人口動態の一般的傾向を説明した上で、日本や中国に比べて、  
アメリカの人口ピラミッドが世代による差の少ない形になっている理由について論じなさい。

# 2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春 季	社会学専攻 博士前期課程	方式	科目
		B 社 会 人	専 門

受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

( 3 - 1 )

《解答別紙》

問題 I 次の核問題に答えなさい。

問1 下記の書籍の著者名を下の選択肢から選び、記号で答えなさい。(書名の後の数字は原著刊行年を示す。)

- a. 『社会学的想像力』(1959)    b. 『もう一つの声で』(1982)    c. 『支配の社会学』(1922)  
d. 『グローバル・シティ』(1991)    e. 『ディスタクシオン』(1979)

【選択肢】

- (あ)P・ブルデュー    (い)M・ウェーバー    (う)C・ギリガン    (え)N・ルーマン    (お)S・サッセン  
(か)C・ミルズ    (き)福武直    (く)A・シュツ    (け)R・ウィリアムズ    (こ)M・ウェーバー

問2 下記の語群から3つを選び、それぞれの意味を説明しなさい。解答欄の冒頭に選んだ語の番号を記すこと。

- ① 社会関係資本    ② 世俗化    ③ 純粋な関係性    ④ ポスト・フォーディズム    ⑤ ジェントリフィケーション

# 2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	社会学専攻 博士前期課程	方式	科目
		B 社会人	専門

受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

( 3 - 2 )

《解答別紙》

問題Ⅱ 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

公共交通の人間関係は、多くの場合、偶然乗り合わせたにすぎず、その場限りの関係でしかないし、さまざまな目的をもった多様な属性の人びとが含まれている。見知らぬ多様な人びとが限られた時間、狭い空間に「共に在る」というだけの匿名的な関係——逆にいえば、初めて会うような互いに素性の知れぬ他者とその場限りではあっても、つかのまの関係を作らざるをえない。大量の他者と出会い、短い時間ながら、狭い空間で共存する経験——これが、多様な集団・組織とそれらを横断的に含んだ大量の人びとで構成されている「社会」という広がりを感じさせるのではないだろうか。

そうした「他者の共在」を作り出しているのは、①鉄道という近代的なテクノロジーのスピードである。民俗学者の柳田國男がかつて「縮地の術」(『秋風帖』初版は1932年、『柳田國男全集2』ちくま文庫、1989年収録)と述べ、地理学者のD・ハーヴェイが「時間と空間の圧縮」(『ポストモダニティの条件』吉原直樹監訳・和泉浩・大塚彩美訳、ちくま学芸文庫、2022年、原著は1989年)と理論化したように、鉄道はそれがなければ容易にたどりつけない広い範囲を結び付ける。その結果、さまざまな地域の人びとが狭い車内に同乗することになる。また、鉄道のスピードとルートは、それまで「行けなかった範囲」を——実際に行かないにせよ——「行ける範囲」として認識させる。そうすれば、目の前にいない他者や行ったことがない地域との想像上のつながりを得ることもできるだろう。

(中略)

こうして大規模な日常的な移動現象——ラッシュアワーの通勤は、「ホワイトカラー」や「オフィスワーカー」とよばれる新しい中間層が都市部で増大するなかで誕生し、拡大していった。逆にいえば、②旧中間層・都市下層が周縁化されやすく、資本家・都市上層等が回避できなくもないのが、ラッシュアワーの通勤といえるだろう。公共交通による通勤ラッシュは、都市のミドルクラスの人びとに特徴的な生活様式として広がっていくことになる。ある意味では、公共交通がミドルクラスらしいふるまいを作りあげていった側面もある。

(出典：田中大臣『電車で怒られた！：「社会の縮図」としての鉄道マナー史』光文社新書 2024年 pp.28-32 ※一部改変あり)

問1 下線部①に関連して、問題文全体を踏まえ、19世紀以降に、鉄道という近代的なテクノロジーがどのような「社会」をつくり出したか、社会学的に説明しなさい。その際、以下の用語を必ず用い、使用した箇所を下線を引くこと。

儀礼的無関心 脱埋め込み ナショナリズム 郊外化
--------------------------

問2 下線部②に関連して、現代日本でこのような状況に変化が見られると思うか、根拠をあげてあなたの意見を述べなさい。

# 2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春 季	社会学専攻 博士前期課程	方 式	科 目
		B 社 会 人	専 門

受験番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

( 3 - 3 )

《解答別紙》

問題Ⅲ 次の表は、日本における在留外国人数の上位7カ国（2025年6月時点）について、2005年、2015年の人数とともに示したものである。これに見て、以下の問いに答えなさい。

表：国籍（出身地）別在留外国人数（単位：人）

	2005年	2015年	2025年
A	519,561	656,403	900,738
B	28,932	124,820	660,483
韓国（注）	598,687	497,707	409,584
フィリピン	187,261	224,048	349,714
ネパール	6,953	48,403	273,229
インドネシア	25,097	32,524	230,689
ブラジル	302,080	173,038	211,229

注、2005年と2015年は「韓国・朝鮮」

出入国在留管理庁「在留外国人統計（旧登録外国人統計）」（各年）より作成。

- 問1 表中の空欄AとBにあてはまる国名を答えなさい。
- 問2 韓国（・朝鮮）の人数が2005年時点では第1位を占めるほど多く、その後は微減傾向にある理由について、韓国（・朝鮮）出身の日本在留者が増えた経緯とあわせて説明しなさい。
- 問3 表を参照しながら、在留外国人の出身地の多様化傾向について、その理由を含めて説明しなさい。